

## 宮崎市生目の杜運動公園の指定管理者候補者の選定について

宮崎市生目の杜運動公園の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、平成29年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

### 1 指定管理者候補者の概要

#### (1) 団体の名称及び代表者名

##### MSG・ミズノグループ

- ・代表構成員：学校法人宮崎総合学院  
理事長 川越 宏樹
- ・構成員：美津濃株式会社  
代表取締役社長 水野 明人

#### (2) 主たる事務所の所在地

- ・学校法人宮崎総合学院：宮崎市老松一丁目3番7号
- ・美津濃株式会社：大阪府中央区北浜四丁目1番23号

#### (3) 設立年月日

- ・学校法人宮崎総合学院：昭和61年 3月 3日
- ・美津濃株式会社：大正12年 7月19日

#### (4) 事業概要

##### ○学校法人宮崎総合学院

- ・専門学校の経営（情報系・ビジネス系・医療福祉系・動物系・美容系）
- ・社会人教育の実施
- ・中学生、高校生の体験学習の受入
- ・高等学校等での主張事業、講演等
- ・大学との業務提携協定
- ・指定管理業務

##### ○美津濃株式会社

- ・スポーツグッズ、スポーツウェアなどスポーツに関わる製品の製造、卸売、販売
- ・各種スクール事業
- ・各種スポーツ施設の運営

#### (5) 資本金又は基本財産

- ・学校法人宮崎総合学院：1億5,976万円
- ・美津濃株式会社：261億3,741万円

(6) 従業員数

- ・ 学校法人宮崎総合学院 : 207人
- ・ 美津濃株式会社 : 5,273人

2 指定期間 (予定)

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで (5年間)

3 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

①施設名	②所在地	③施設規模等
宮崎市生目の杜運動公園	大字跡江 4461 番地 1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アイビースタジアム (両翼 100m、センター122m)</li><li>・ 第2野球場 (両翼 100m、センター122m)</li><li>・ はんぴドーム (人工芝屋内運動場 65m×65m)</li><li>・ 多目的グラウンドA (混合土 126m×126m)</li><li>・ 多目的グラウンドB (天然芝 17,330 m<sup>2</sup>) (人工芝 8,784 m<sup>2</sup>)</li><li>・ テニスコート (砂入り人工芝 16面)</li><li>・ 陸上競技場 (トラック 400m×9コース) (インフィールド天然芝 サッカー1面)</li><li>・ 管理棟併設体育館 (アリーナ バレーボール3面)</li><li>・ 中央休憩所、中央プロムナード (トイレ、芝生広場)</li><li>・ 東広場、エントランスプロムナード (トイレ、東広場噴水)</li><li>・ 西芝生広場、南芝生広場</li><li>・ ランニングコース</li><li>・ 駐車場 (東、南、西側 合計 1,301台)</li></ul>

## (2) 業務概要

- ①施設の貸出に関すること
- ②施設の使用許可に関すること
- ③施設使用料等の徴収及び収納に関すること
- ④施設の維持及び保全に関すること
- ⑤施設の管理運営に関して市が必要と認めること

## (3) 現在の管理方法

指定管理者 MSG・ミズノグループ

※学校法人宮崎総合学院及び美津濃株式会社で構成するグループ

(平成25年4月1日から平成30年3月31日まで)

## 4 事業計画の概要

### (1) 施設の運営が、市民の平等な利用を確保するものであること

- ①管理運営に対する基本方針
  - ・市民スポーツの振興
  - ・スポーツランドみやざきの推進
  - ・経験を活かした質の高い施設運営
  - ・公平、公正な施設運営
  - ・効果的、効率的な施設運営
- ②市民の平等な利用の確保
  - ・地方自治法に基づく、公平公正な運営
  - ・スポーツ基本法を踏まえた、誰もが平等利用できる施設運営
- ③要望、意見、苦情への対応
  - ・利用者とのコミュニケーション、意見箱、アンケートにより意見把握
  - ・苦情に対して迅速かつ適切に対応、苦情や要望の分類整理

### (2) 施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること

- ①使用者サービスの向上に関する提案
  - ・休場日開場、仮予約、物販サービス等の取り組み
  - ・大会、イベント時の開場時間外の柔軟な人員配置
- ②使用者の増加を図るための取り組みに関する提案
  - ・MSGミズノの冠大会の企画、ミズノビクトリークリニック等のスポーツ教室
  - ・観光団体と連携したスポーツ合宿
- ③施設の設置目的の理解と課題の認識
  - ・スポーツランド推進のため、観光にも配慮した運営
  - ・施設劣化に対し、設備の短中期修繕計画を策定
- ④設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案
  - ・休場日開場や電話の仮予約等、利用しやすい環境を整備
  - ・実績や経験を活用し、プロのハイレベルな要望に応える維持管理

- ・ 苦手克服ミズノスポーツ塾等、ミズノのノウハウを活用した事業
- (3) 施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ① 指定期間に市が提案する指定管理料に対する提案額
    - ・ 経費縮減に努めるとともに、質のいい人材の確保等のために職員の待遇改善を図る
    - ・ 専門性や効率性の観点で、第三者委託を実施するが、報告確認等を行い適正に管理
  - ② 管理業務の効率化と経費の縮減に関する考え方、提案
    - ・ 迅速でコストパフォーマンスに優れた業者を選定し、委託費を縮減
    - ・ 複数年契約の導入で、委託費を縮減
    - ・ グループの人的物的資源を活用し、委託費や消耗品費等を縮減
    - ・ 電気料金契約の見直しで、電気料金の縮減
- (4) 管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること
- ① 人的体制の確保
    - ・ 所長はじめ16名のスタッフで、勤務シフト体制により、円滑に運営
    - ・ 労働条件は、MSG及びミズノの就業規則や労使協定による
  - ② 職員の能力育成（研修体制）
    - ・ 年間研修計画に基づく、計画的な研修を実施
    - ・ MSGの人材育成や、ミズノのデータベースを活用した研修を実施
  - ③ 事業計画の実現可能性（継続性、安定性）
    - ・ 地域や関係機関との運営協議会を設置
    - ・ プロキャンプやフェニックスリーグの受入れ活動を支援
    - ・ ニーズの整理や分析を行い、速やかな業務改善
  - ④ 類似施設等の運営実績
    - ・ 宮崎県青少年自然の家
    - ・ 宮崎県建設技術センター
    - ・ 県立農業大学校農業総合研修センター及び農業科学公園
    - ・ 市民文化ホール
    - ・ ミズノとして、熊本県民総合運動公園ほか110施設
  - ⑤ 申請者の安定性、信頼性
    - ・ 学校法人宮崎総合学院  
教育施設等の固定資産が多い
    - ・ 美津濃株式会社  
東証一部上場企業、厳格な会計基準を採用
- (5) 安全管理に対する対応
- 災害及び不審人物の対応など、危機管理に対する対応
- ・ 危機管理マニュアルの整備と充実、訓練を通じた職員への周知徹底
  - ・ AEDや心肺蘇生法、応急処置の訓練による、職員対応力向上
- (6) 労働福祉の状況
- 雇用に対する基本的な考え方

- ・原則、常勤雇用等の待遇改善を図ることで、職員定着や資質を向上
- ・人事考課を実施し、能力向上やモチベーションアップを図る

(7) 環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況

①環境に配慮した施設管理

- ・照明や空調の省エネによる、二酸化炭素排出量の削減
- ・節水コマの導入等による、水使用量の削減

②障がい者の就労支援への対応

- ・福祉施設運営の経験を踏まえ、障がい者雇用を支援

※上記の事業計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、実際に行う事業の計画は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

5 収支計画の概要

■収入

(単位：千円)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5ヵ年合計
指定管理料	163,100	163,100	163,100	163,100	163,100	815,500
収入合計	163,100	163,100	163,100	163,100	163,100	815,500

■支出

(単位：千円)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5ヵ年合計
人件費	45,388	45,388	45,388	45,388	45,388	226,940
事務費	12,082	12,082	12,082	12,082	12,082	60,410
光熱水費	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	157,500
施設管理経費等	70,490	70,490	70,490	70,490	70,490	352,450
公課費	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	18,200
支出合計	163,100	163,100	163,100	163,100	163,100	815,500

※上記の収支計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、最終的な収支計画（指定管理料を含む。）は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

■参考

【平成28年度管理運営費収支決算】

[収入] 計157,728千円

- ・指定管理料157,728千円

[支出] 計158,315千円

- ・人件費47,918千円・光熱水費、燃料費31,562千円・維持管理費（施設設備管理費、リース料）59,914千円・その他経費（事務費等）18,921千円

※上記は、指定管理者からの事業報告に基づき、市の指定管理料積算項目に再配分したものです。

## 6 選定結果の概要

### (1) 公募の概況

#### ① 応募団体

1 団体

#### ② 募集日程

募集開始	平成29年	7月21日
指定管理者募集に係る合同説明会	平成29年	7月25日
施設視察会及び現地説明会	平成29年	8月 3日
第1回質問の受付	平成29年	8月 7日～ 8月10日
第1回質問の回答	平成29年	8月18日
指定管理者応募意思表示書等の受付締切	平成29年	8月25日
第2回質問の受付	平成29年	8月28日～ 9月 1日
第2回質問の回答	平成29年	9月 8日
指定管理者指定申請書等の受付締切	平成29年	9月25日
ヒアリングの実施	平成29年	10月16日

### (2) 宮崎市社会体育施設指定管理者候補者選定委員会

(敬称略)

	役 職 等
会 長	観光商工部長
委 員	宮崎公立大学 准教授
”	宮崎市スポーツ推進審議会委員 宮崎市地区体育会連合会 所属
”	宮崎市スポーツ推進審議会委員 女性スポーツ指導者
”	観光商工部観光戦略課長
”	地域振興部文化・市民活動課長

### (3) 選定の概況

#### ア 選定理由

宮崎市社会体育施設指定管理者候補者選定委員会において、申請者からの応募書類及びヒアリングをもとに、「宮崎市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」で定める次の基準により、総合的に審査を行った。

- ①事業計画書に基づく当該施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること
- ②事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること
- ③事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ④事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること
- ⑤安全管理に対する対応
- ⑥労働福祉の状況

⑦環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況

その結果、事業計画において、「プロスポーツキャンプ等の受入れ」、「市民スポーツの振興」、「自主事業の企画・内容」について、現指定管理者としての実績を活かした提案がなされており、更なる充実した管理を行うことが期待できると高い評価を得た。

これらの理由から、MSG・ミズノグループが当該選定基準に適合していると認められたため、当該団体を指定管理者候補者に選定した。

イ 審査結果一覧

選定の基準	満点 (配点×委員数)	最低基準点	候補者 MSG・ミスノグループ
①事業計画書に基づく当該施設の運営が、市民の平等な利用を確保するものであること	180		129
②事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること	420		328
③事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること	210		140
④事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること (重要基準)	450	180 (満点×40%)	328
⑤安全管理に対する対応	60		46
⑥労働福祉の状況	30		19
⑦環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況	60		39
合計得点	1,410	846 (満点×60%)	1,029
選定委員会における多数決の結果			6
【参考】提案金額(単位:千円)			815,500